

「土砂災害から地域を守る」シンポジウムを開催しました。

令和元年11月5日（火）10:00～12:00、おぐに開発総合センター（山形県西置賜郡小国町）にて、昭和42年羽越災害を契機に昭和44年から荒川において直轄砂防事業に着手し、今年で50年の節目を迎えることから、今一度、土砂災害対策の大切さ等を地域とともに考える機会とすべく、「土砂災害から地域を守る」シンポジウムを開催しました。

＜プログラム＞

- 開会挨拶 実行委員長：仁科 洋一（小国町長）
- 来賓挨拶 山形県議会議員：五十嵐智洋氏
新潟県議会議員：小野 峯生氏
北陸地方整備局長：吉岡 幹夫氏
- 事業報告 飯豊山系砂防事務所長：石田 和典
- 基調講演 「土砂災害の恐ろしさ 土砂災害対策の大切さ」
国土交通省水管理・国土保全局 砂防部長：今井 一之氏
- 特別講演 「豪雨災害にそなえて～早期避難対策～」
山形県警察本部 警備部災害対策官 山形県警視：太田 善久氏
- 閉会挨拶 副実行委員長：加藤 弘（関川村長）



◆基調講演◆「土砂災害の恐ろしさ 土砂災害対策の大切さ」

国土交通省水管理・国土保全局 砂防部長：今井 一之氏



「着実な砂防事業は台風19号でも効果を発揮しました。投資をしたものが災害発生時に効果を為すと考えています。住民がハザードマップによる危険箇所を認識し、防災施設の効果を理解いただくよう、正確に、先人の知恵と努力の情報を発信していくことが必要です。」等のご講演をいただきました。

国会議員（代理）、県議会議員、町村議会議員、行政関係者、地元関係者など、約150名の方に参加いただきました。屋外展示では、土石流模型実験装置や降雨体験車の体験、パネル展示等を行いました。

屋外展示には、隣接する小国小学校の4年生57人の皆さんも来場し、防災学習も行いました。



会場の様子



◆特別講演◆「豪雨災害に備えて～早期避難対策～」

山形県警察本部 警備部災害対策官 山形県警視：太田 善久氏



「自分は大丈夫という正常性バイアスの意識を改革し、早期避難で『自らの命は自らが守る』行動をしていただきたい。命を守るのは『あなた』です。今年1月に小国町で行政が連携して行った防災セミナーでは、参加した町民による『早期避難宣言』を行いました。」等のご講演をいただきました。



屋外展示（ドローンで記念撮影）



防災学習の様子

